

日時 令和7年1月24日(金) 15時～

場所 県立下総高校会議室

(1) 開会のことば(教頭)

(2) 学校長挨拶(校長)

- ・ 課題研究発表会について
- ・ コミュニティースクール
- ・ 生徒の日常の学習状況について
- ・ 3学年進路活動について
- ・ 入試状況について
- ・ 事務の人員不足改善
- ・ 自動車部について
- ・

(3) 学校からの報告(ここからの進行は委員)

①教務部(鹿又)

- ・ 出席遅刻早退について…全体的には出席率が向上している。少人数でのきめ細やかな授業が良い影響を与えているのではないか。
- ・ 学校説明会の参加人数は105名。志願者数を増加させるため、資料などのブラッシュアップを行っていく。中学校訪問は年に2回実施。こちらの資料も継続して改善に努めていく。

②生徒指導部(北川)

- ・ 特別指導件数について、昨年度よりも減少している。生徒数の減少により教員の目の届く範囲が増えたことが関係しているのではないか。
- ・ 印旛地区、東総地区の他学校では喫煙や闇バイトなどの事案が多く発生している。若年層はこのような事案のターゲットになりやすいため、スマートフォンの扱い方などを含めて指導を続けていく。
- ・ 校則について、ジェンダーギャップや文言の点で、時代に沿った形で変更を行っていく。至らぬ点などもありご迷惑をおかけするが、お気づきの点などあれば、地域の方々からのご協力をお願いしたい。

③進路指導部(神保)

- ・ 進路未決定生徒について、概要を説明。1月から2月にかけて試験がある生徒もいるため、継続して指導を行い、生徒の進路実現を図る。

④総務部(根本)

- ・ 下校指導・高P連・小御門祭などの日程、実施内容の説明。

#### ⑤管理厚生部（天瀬）

・消火訓練や避難訓練で地域の消防署や警察署などと連携をしている。防災訓練は今後必ず必要になってくるため、継続して実施していく。可能であれば保護者の方やPTAとも連携を行っていききたい。

・教職員対象のAED研修を行った。

・環境美化活動について、駅職員と連携をとり、駅周辺から通学路の清掃を行っていく。

・学校の感染対策について、養護教諭など教職員と連携をとりながら、換気・消毒等を実施する。

#### （４）各分科会報告（１年間の総括）

・今回は分科会での報告事項はなし。

#### （５）意見交換

（委員）少子化について、志願者数の減少は残念である。

（会長）学校として様々な取り組みをしている中でそれが繋がっていないのが難しいところ。

（委員）地域社会が変容していくのはこれからであり、そこが正念場。学校として、農業・工業・商業の特色を生かして志願者数の増加が大切である。寮は遠方の生徒からの募集を増やすためにより活用するべきではないか。基盤が固まりつつある中でその基盤をどう生かすかを考える。

（委員）私は息子に下総高校へ進学するよう勧めている。

（委員）自動車部の８連覇はとても誇らしかった。だが、応援する人が少なく、生徒があまり報われない感じがしたので、より広報活動を行うべきではないのか。

課題研究発表会であったナマズを使用した光合成細菌は非常に素晴らしい。現在重宝されている。研究材料は素晴らしいので発展した形で見てみたい。SDGsで言われている農業の達成目標は個人では達成できないため、全体として活動を行い、農業の世界の魅力を伝えたり下総高校の生徒との関わりを増やしたりして、生徒がよりよい人生を送れるように協力していきたい。

（委員）佐原で行われる「ふるさとフェスタ佐原」には下総高校は十何年も参加してもらっていて、シクラメンや野菜などの販売はとても人気がある。そのフェスタ内で、駅からのアクセスが悪いため志願者数が増えない現状があるのではないかという意見をいただいた。そのため、先生方と協力して改善を図る必要がある。

下総高校の生徒会に記事を見てもらう機会があり、それをもとに学生に見てもらいやすい

（保護者）高P連の活動に参加して感じたことだが、他校よりも本校の活動に興味を持っている人は多い。しかし、アクセスの関係上、そこまでして下総高校に行きたい、というところまでは繋がっていない。

コロナの影響を引きずっていて、PTA同士の行事なども減少してしまっているため、来年度以降は行事の増加に取り組んでほしい。

(委員) 教員不足や生徒数の減少があるのは間違いない。合併なども行われる可能性がある。それにより生徒の選択肢が減少してしまうのは生徒に不利益になるため、下総高校の特色ある校風をもっとアピールしていく必要がある。youtube や SNS を使用してホームページ以外でも情報公開・宣伝を行う必要がある。

(委員) 先生方がこれだけ努力をしているのに志願者数が増えないのはとても残念である。このような特色ある学校を志願する生徒が減ってし合うのはもったいないため、どうにかしなければならない。

12月に下総高校の同窓会で60名程度が集まった。理由としては、寮生活があったことで生徒同士が密にコミュニケーションが取れていたため、今になっても繋がりがあるということだった。そのため、寮を今以上に活用していくと、志願者数増加のきっかけになるのではないか。

下総高校のシクラメンはとても素晴らしく、他校のシクラメンと比較しても、形がとても美しく崩れることがなかった。

小見門祭で豚汁を出したが、完売するほどに大好評であった。事前に声掛けがあれば同窓会とPTAと協力をしてより良い出し物ができる。

(会長) この一年はあまり協議会に参加することができなかったが、いかに下総高校の先生方が頑張っているかを新聞や紙面などで感じることもできた。

学校の評価を志願者数で決めないでほしいという考えを持っている。

今の生徒は駅からのアクセスをかなり重要視するため、県教育委員会に相談をしてスクールバスを増加させるなどをしないといけない。

これだけ特色がある学校なのだから、廃れさせてはいけない。校長先生は地道に学校の価値などを周辺の中学校に発信し続けているので、すぐ報われることはなくとも、特色ある教育の重要性に気づいてもらいたい。

自動車部や農業・工業・商業では先進的な教育を行っているのでそこを売りにするべき。

自動車部の先生はどうか。

(仲野) 日頃から皆様の応援、ご協力には感謝している。ラジオや紙面などで広報活動は行っているが、それが志願者数の増加につながっているかと言われると難しいところ。

(会長) 寮の先生はどうか。

(石毛) 県に申請はしているが、寮に冷暖房がないため、気温が比較的安定している時期にしか止まることができない。そのため、年間30泊しかできていない。

(校長) 冷暖房はいつつくかは見通しが立っていない。現在は寮に住み込んでいる生徒はいない。引き続き要望は県に出していく。

(委員) 私立学校と公立学校の合同会議の際に、公立学校の冷暖房の導入は順番に行っていくという話があった。

(会長) 結果としてダメであっても、動かないことには始まらないので我々の様々なチャレンジを行っていく。

(校長) SNSの活用について、インスタグラムを使用している。

委員の皆様の日頃からのご尽力に本当に感謝している。来年度も委員の継続をお願いしたい。来年度1回目の会議は5月頃を予定している。

**(7) 事務局からの連絡（ここからの進行は教頭）**

- ・ 会議の議事録が完成し次第、郵送させていただく。確認をお願いしたい。
- ・ 4月には来年度の正式な依頼文章を送らせていただく。

**(6) 閉会の言葉（教頭）**